

日立 会計テンプレート for SAP S/4HANA

Fit to Standard*でSAPを導入することによって業務プロセスの標準化を実現したい
しかし、標準機能だけではすべての業務を網羅しておらず、標準機能だけで業務の実現は困難

できるだけ標準機能を利用して、機能拡張はERP本体以外で開発・実装してクリーンコア*を実現することが必要

- *Fit to Standard：業務に合わせて標準機能を組み合わせて導入する手法
- *クリーンコア：ERP本体にはアドオン開発せず、ERPのコアをクリーンに保つ考え方

クリーンコアを実現させる理由

クリーンコアの実現は、構築期間が短い、構築費用が安い、バージョンアップがしやすい、といったメリットだけではない

最大のメリット：継続的な変化への対応が容易

システムの維持

常に最新のシステムへのバージョンアップ

時流に沿った業務の見直し

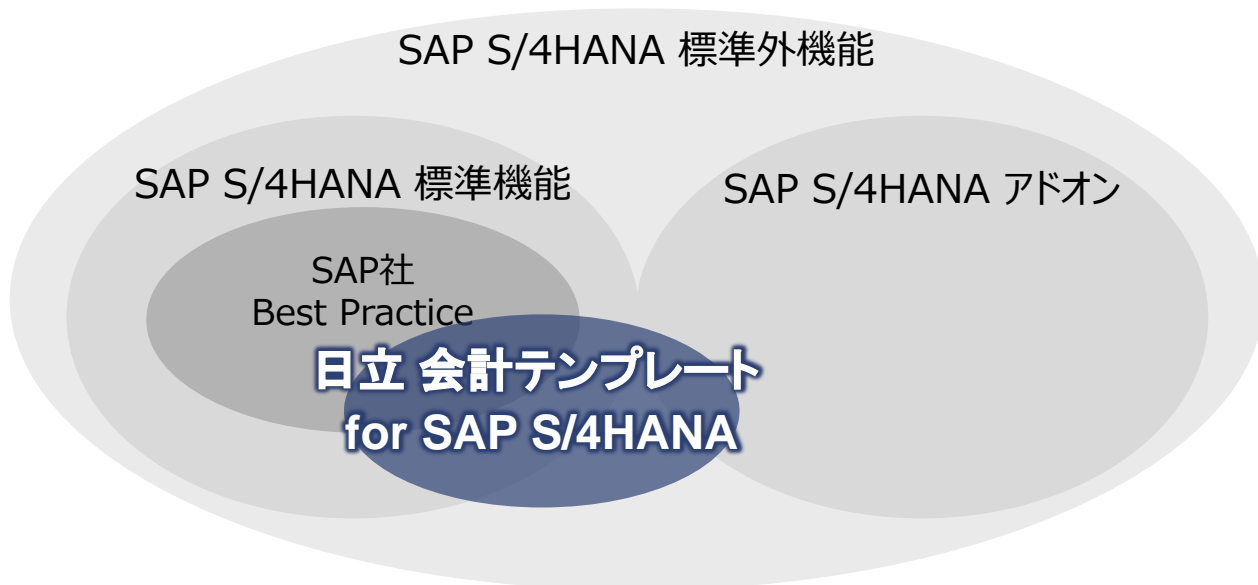
クリーンコアを実現するうえでの壁

現行システムがユーザー利便性の高いものであった場合、ユーザーからするとグレードダウンすることもあり、単純にクリーンコアだけを追求すると業務負荷が高くなって新システムへの不満が高まる可能性がある

クリーンコアの重要性の啓発と、負荷を増大させないための最低限の開発のバランスをとって推進することが必要である

日立 会計テンプレート for SAP S/4HANAの提供範囲

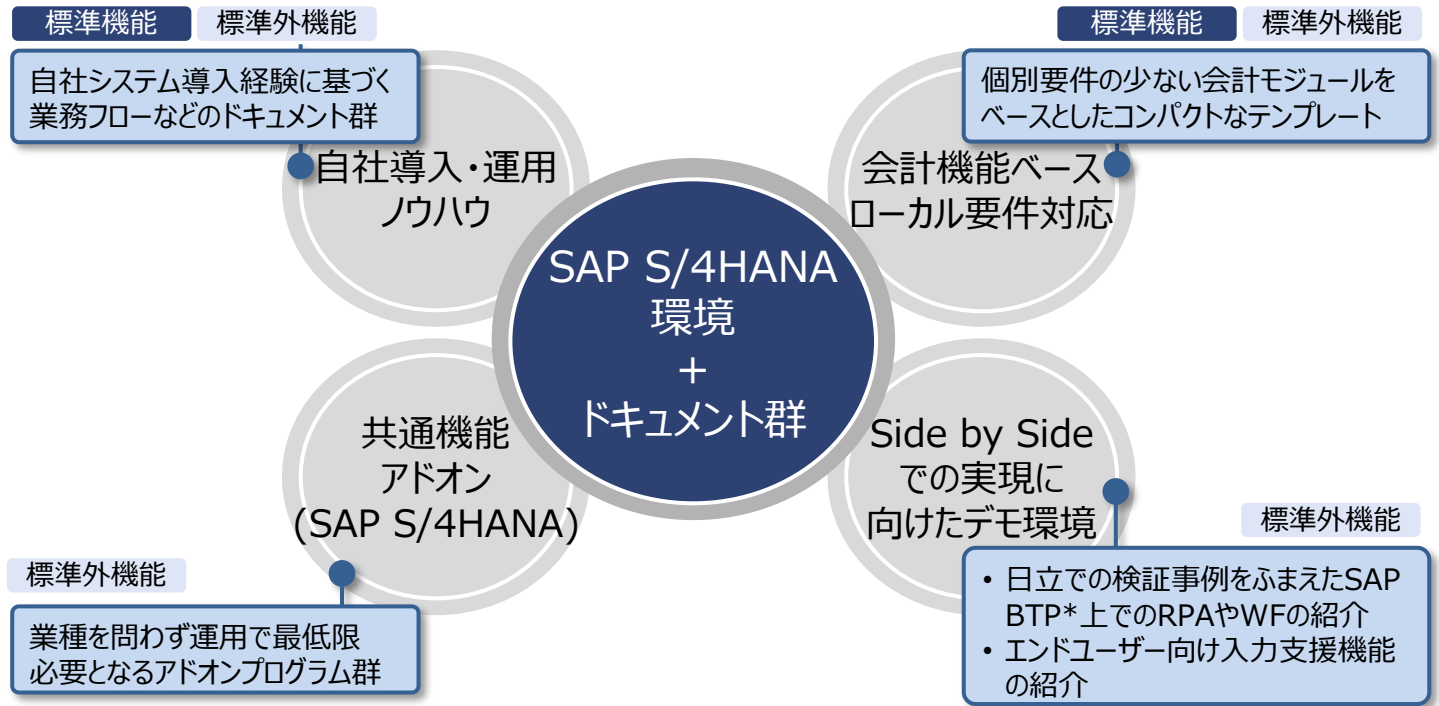
クリーンコアを実現する支援ツールとして日立 会計テンプレート for SAP S/4HANAを提供



日立の導入経験をベースに、標準業務プロセスを定義し、各プロセスにおける機能をSAP標準機能とSAP標準外機能で切り分けて定義

日立 会計テンプレート for SAP S/4HANA

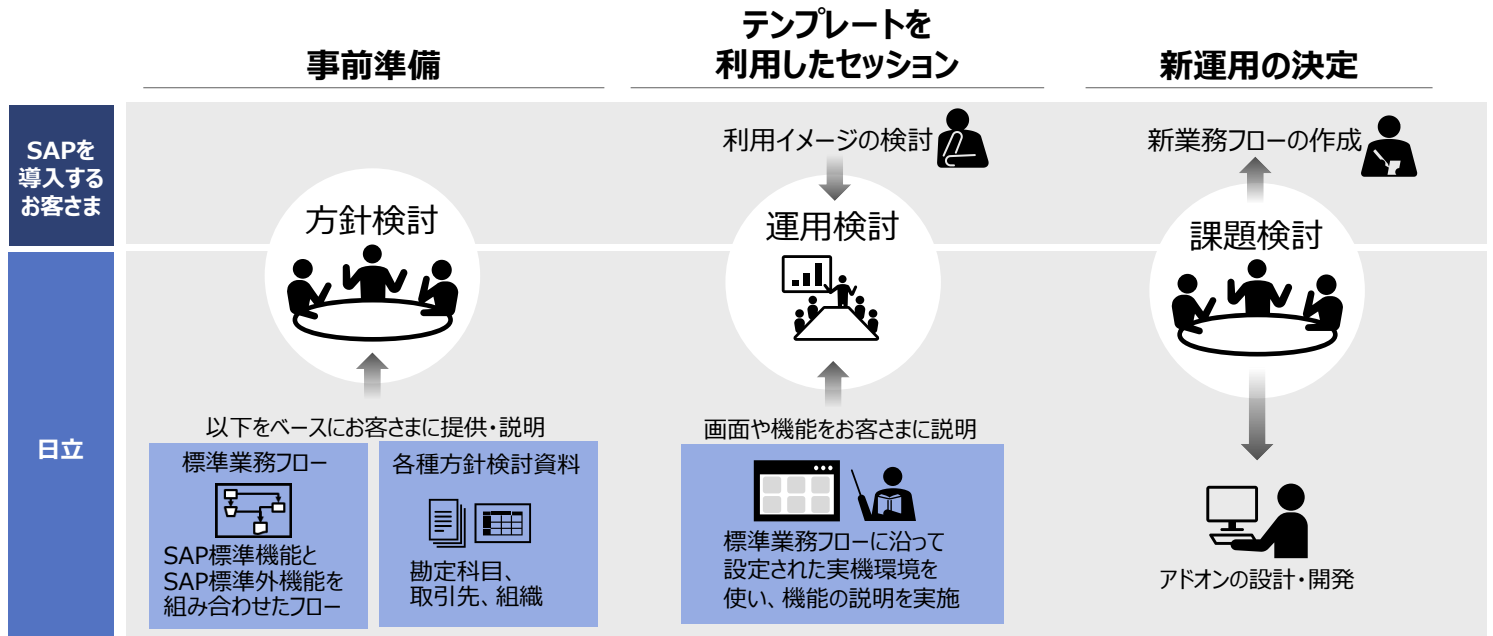
日立の導入経験をベースに「標準機能」と「標準外機能」で実現すべきプロセスを定義し、クリーンコアに近づけるための要件定義支援ツールを提供



*SAP BTP : SAP Business Technology Platform

日立 会計テンプレート for SAP S/4HANAの使い方

要件定義では、Fit & Gapで現行業務と比較するのではなく、日立 会計テンプレート for SAP S/4HANAの業務フローに合わせた新運用を検討



：日立 会計テンプレート for SAP S/4HANAを利用する場面

- SAP、SAP S/4HANAは、関連するロゴも含めて、ドイツおよびその他の世界各国におけるSAP SEの登録商標または商標です。
- その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の登録商標または商標です。
- 本リーフレットにあるサービス内容は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。最新情報は当社へお問い合わせください。

詳細・お問い合わせは、営業担当または下記へ

- 日立のSAPソリューションサイト

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/industry/solution/sap/>

